
情報番号：

テーマ：PERT

編著者：(株)アイベックス・ネットワーク

1. PERTとは

計画を立てるための技法の代表的なものにガントチャート（Gantt chart）とPERTがある。ガントチャートは生産管理の技法で、日程や進捗状況を合理的、効率的に運用するために考え出された。ねらいは、納期や工期を短縮させることにあるが、計画遂行の技法としても優れているため、一般的な仕事のスケジュール管理に活用されている。

一方PERTはProgram Evaluation and Review Techniqueの略で、何らかのプロジェクトを立案し、それを計画に従って管理するための計画技法として活用されている。計画のための技法としてこの2つがあるが、ガントチャートの方は簡単であるため、研修ではPERTを体得させることが多い。

PERTを定義すれば「確立された目標を時間通り完成させるために仕事を計画し、管理し、まとめて手法」となる。この技法は1958年、アメリカ海軍とロッキード社のORチームが、ポラリスプログラム実施のために考案されたが、現在は造船や建設などの大型プロジェクトはもちろんのこと、日常の仕事の中でも活用されている。